

第2回『適応自治体フォーラム』開催のお知らせ

拝啓 盛夏の候、ますますご健勝のこととお喜び申し上げます。

2015年11月に政府の「適応計画」が閣議決定され、以降2016年度末までに気候変動適応計画を策定する地方自治体も次第に増えてきたところです。しかし地方自治体にとっては、自らの地域の気候変動に関する科学的な知見・情報がなくては適切な対策を講じることは困難です。

2015年度より5か年の予定で実施している文部科学省の「気候変動適応技術社会実装プログラム(SI-CAT)」では、地方自治体が主体的に気候変動適応策を検討する際に必要な科学的知見・情報が得られるよう、地域の将来の環境を予測する基盤的技術を整備し提供するとともに、地域特有の気候変動の影響を考慮した適応策の立案に資するアプリケーションや策定手法に関して導入支援を行うことを目的としています。法政大学は、この研究プログラムの一員として、地方自治体の適応策の取り組み状況の把握・分析、気候変動予測や影響評価に係わる技術への自治体ニーズの抽出、住民参加型の適応立案手法と地域社会の適応シナリオの開発などを実施しております。

その一環として、昨年2016年8月には「第1回適応自治体フォーラム」を開催させていただき、全国の自治体担当者を中心に80名弱の関係者の参加を得て大変活発な情報共有と意見交換の場となりました。本年度の第2回フォーラムでは、最新の技術開発の成果が出つつあることを受けて「地域適応策の策定に向けた気候変動データの提供と行政実務における活用」をテーマとして開催いたします。ご多忙のところを誠に恐縮ではございますが、ぜひご参加いただけますようお願い申し上げます。

なお、お申し込みにつきましては、調査協力をいただいております一般財団法人日本気象協会のご担当宛に、電子メールにて、お名前とご所属、希望する後半の分科会(適応計画全般、農業、防災、暑熱を想定しておりますが、その他についてもご自由にお書き下さい)、交流会の参加の有無とともにお知らせ下さい(締切：8月22日(火))。

敬具

記

日時：2017年8月30日(水) 10時～17時20分

場所：法政大学市ヶ谷キャンパス ボアソナードタワー26階 スカイホール、A会議室 及び B会議室(25階)



※本フォーラムは文部科学省『気候変動適応技術社会実装プログラム』の支援を受けて実施されます。

お申し込み：一般財団法人日本気象協会 増田
電子メール masuda.ayako@jwa.or.jp Tel 03-5958-8152

議事次第(案)

司会：田中博春(法政大学地域研究センター)

10:00～10:05 開会のご挨拶と SI-CAT プログラムのご紹介

木村富士男(SI-CAT プログラムディレクター・筑波大学名誉教授)

石橋和昌(文部科学省研究開発局環境エネルギー課課長補佐)

10:05～10:10 フォーラム開催の趣旨説明

田中充(法政大学社会学部教授)

10:10～10:25 話題提供①「近未来予測とダウンスケーリング技術とは？」

石川洋一(海洋研究開発機構気候変動適応技術開発プロジェクトチームプロジェクト長)

10:25～10:40 話題提供②「防災分野の適応策策定に向けた気候変動データの提供と活用の実際」

中津川誠(室蘭工業大学)

10:40～10:55 話題提供③「自治体向けリアルタイム浸水ハザードマッピング実現に向けた共通プラットフォームの開発 or 精緻な浸水予測手法を基礎とした東京都 23 区の豪雨時リアルタイム浸水予測システムの実用化に向けたフィジビリティスタディ」(仮)

佐山敬洋(京都大学) or 関根正人(早稲田大学) (調整中)

10:55～11:10 話題提供④「農業分野の適応策策定に向けた気候変動データの提供と活用の実際」(仮)

増富祐司(茨城大学)

11:10～11:20 話題提供⑤「茨城県の農業政策における適応計画策定事例」(仮)

(茨城県農林水産部農業政策課)

11:20～11:35 話題提供⑥「地方自治体における適応計画の策定動向・関係者の参加による地域適応シナリオ作成」(仮)

馬場健司(法政大学)

11:35～11:50 話題提供⑦「住民参加型の地域気候変動事例の抽出と適応策策定の試み」(仮)

白井信雄(法政大学)

11:50～12:05 総合討論 (質疑と意見交換)

12:05～13:00 休憩

13:00～13:15 話題提供「暑熱分野の適応策策定に向けた気候変動データの提供・活用の実際」(仮)

大西領(海洋研究開発機構)

13:15～13:25 話題提供⑩「埼玉県における適応に向けた取組の方向性」(仮)

嶋田知英(埼玉県環境科学国際センター)

13:25～13:35 話題提供⑧「国の適応計画と地域適応コンソーシアム事業について」

秋山奈々子(環境省地球環境局総務課気候変動適応室/研究調査室室長補佐)

13:35～13:45 話題提供⑨「自治体における適応計画策定事例」

(調整中)

13:45～13:55 話題提供⑩「自治体における適応計画策定事例」

(調整中)

13:55～14:15 質疑応答

14:15～14:30 休憩(各分科会会場へ移動)

14:30～16:30 小グループ(分科会)によるワークショップ(分科会は、適応計画全般、農業、防災、暑熱・健康、他を想定)

16:30～17:15 各小グループ(分科会)からの報告と意見交換(総合討論) 司会：馬場

17:15～17:20 総括と閉会のご挨拶

田中充(法政大学)

17:30～19:00 交流会 (ボナソアードタワー内を予定)

参加予定者

- 地方自治体：ご関心のある環境、農政、防災、健康、企画部局を中心にお声がけさせていただきます(関連部局や地方研究機関、試験場などお誘いいただけますと大変助かります)。
- 本研究プログラムメンバー：海洋研究開発機構をはじめとする全国の技術開発機関、法政大学ほかの社会実装機関

(敬称略)

以上